

## 評議員会および理事会議事録から

立正大学での大会の前日(5月22日)に評議員会および理事会が開催されました。主要な議案は以下の通りです。

1. 2014年度事業報告
  2. 2014年度編集委員会活動報告
  3. 2014年度大会準備委員会活動報告
  4. 2014年度決算報告
  5. 2015年度予算確認
  6. 2016年度大会開催校の決定
  7. その他
- \*予算、事業報告、決算報告につきましては、詳細を学会ホームページ「情報公開」欄でご覧いただけるようになっております。

〔7. その他〕中の主な議案は以下の通りです。

- (1) 2015年度就任の新理事について——以下の方々が承認されました。瀬名波栄潤(北海道)、箭川修(東北)、原田範行(関東)、後藤和彦(関東)、山本卓(中部)、佐々木徹(関西)、吉中孝志(中国四国)、西岡宣明(九州)。任期は2017年大会前日までの2年です。
- (2) 代表理事・会長の選出について——定款の定めるところに従い、新理事により代表理事・会長として佐々木徹理事(関西支部選出)が推挙され、了承されました。また、佐々木会長の指名により、原田範行理事(関東支部選出)が副会長に就任いたしました。任期は2017年大会前日までの2年です。
- (3) 託児施設の利用状況——第87回大会においては、開催校のご尽力により託児施設が開設され、5名が利用予定であることが報告されました。
- (4) 『英文学研究』(和文号・英文号・支部統合号)電子化掲載先の移行について——国立情報学研究所電子図書館の事業終了に伴う『英文学研究』(和文号・英文号・支部統合号)電子化掲載先の移行について、和文号・支部統合号

については科学技術振興機構による J-STAGE へ、英文号については EBSCO への移行が承認されました。

- (5) 編集委員の増員について——編集委員会より2016年度から編集委員を1名増員(アメリカ文学分野)することが提案され、承認されました。
- (6) 海外研究者招聘後援事業について——本年度上半期は期限(4月1日)までに申請がなかったことが報告されました。なお「海外研究者招聘後援事業規程」は学会ホームページ「情報公開」欄に掲載いたしております。
- (7) 来年度特別講演、特別シンポジウムについて——第88回大会における特別講演、特別シンポジウムの企画内容は理事会にて決定されることが報告されました。

## 大会準備委員会からのお知らせ

### ◎委員の交代

本年6月28日をもって大石和欣、今林修、霜鳥慶邦、田中智之、中井亜佐子、長畑明利の6氏が任期満了により退任しました。後任には、江田孝臣(早稲田大学)、加藤めぐみ(都留文科大学)、加藤洋介(西南学院大学)、高橋和子(明星大学)、縄田裕幸(島根大学)、吉川朗子(神戸市外国語大学)の6氏が選出されました(任期は各委員とも3年)。委員長は田中孝信氏、副委員長は川島伸博氏です。

### ◎第87回大会の『大会 Proceedings』発行

第78回大会から刊行がはじまった『大会 Proceedings』を、今回も無事発行することができました。研究発表30件中19件(63%)、シンポジア発表51件中19件(37%)、特別シンポジウム5件、総発表数86件中43件(50%)の論文をお寄せいただきました。また今回は、全7支部より90の原稿をいただきました(北海道3件、東北10件、関東15件、中部22件、関西12件、中国四国9件、九州19件)。ご寄稿ありがとうございました。なお、

『大会 Proceedings』に掲載される論文は、大会発表の長めの要約という性格のもので、それを大幅に加筆して、別稿として『英文学研究』に投稿もしくは新人賞に応募することは認められていません。

### ◎第87回大会で発表された方へ

ご発表ありがとうございました。研究発表およびシンポジアのいずれについても、参加者の方々から多くのご好評をいただきました。ハンドアウト等の資料が不足した部屋・部門においては、大会直後から、今からでもほしいという声が多く寄せられました。著作権等の問題がない場合には、今年度も学会ホームページにおいて掲載させていただきたく思っております。すでに送っていただいた方は、掲載されております。これからでも掲載して下さる発表者の方はぜひ事務局に原稿をお送りください。電子ファイル(etaikai@elsj.org)でも、ハードコピーでも結構です。どうぞご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

### ◎第88回大会の開催日・開催校等

時 2016年5月28日(土)、29日(日)

所 京都大学 吉田キャンパス

(京都市左京区)

京都大学の先生方には大変なお仕事をお引き受けいただき、まことにありがとうございます。また大会担当支部である関西支部の方々にも心より御礼申し上げます。大会準備委員会としても、できるかぎりのバックアップを心がけたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

### ◎第88回大会のシンポジア企画の内定

第88回大会で行われるシンポジアの企画が下記のように内定しました。(敬称略。タイトルの変更の可能性あり。)第1～6部門は大会第1日(5月28日)、第7～12部門は第2日(同29日)にそれぞれ開催される予定です。

#### 第1部門「演劇製作の現場から——シェイクスピアと初期近代演劇の『共作』」

司会 英 知明(慶應義塾大学教授)  
 講師 太田 一昭(九州大学教授)  
 講師 廣田 篤彦(京都大学准教授)  
 講師 由井 哲哉(フェリス女学院大学教授)

#### 第2部門「Literary Tourismを考える——近代英国における多様な文学受容と文化的アイデンティティの視点から」

司会・講師 松井 優子(青山学院大学教授)  
 講師 吉野 由利(学習院大学准教授)  
 講師 桐山 恵子(和歌山大学准教授)  
 講師 水野 祥子(下関市立大学教授)

#### 第3部門「近代イギリスのチャリティを読む」

司会・講師 松本三枝子(愛知県立大学教授)  
 講師 坂下 史(東京女子大学教授)  
 講師 市川千恵子(茨城大学准教授)  
 講師 井上 美雪(東洋大学准教授)

#### 第4部門「21世紀のイギリス小説が問う記憶と歴史」

司会 河内 恵子(慶應義塾大学教授)  
 講師 板倉巖一郎(関西大学准教授)  
 講師 遠藤不比人(成蹊大学教授)  
 講師 田尻 芳樹(東京大学教授)

#### 第5部門「チャーサーとヨーロッパ大陸の影響」

司会 地村 彰之(広島大学教授)  
 講師 西村 政人(豊橋技術科学大学元教授)  
 講師 大野 英志(倉敷芸術科学大学准教授)  
 講師 浅香 佳子(関西大学非常勤講師)  
 講師 笹本 長敬(大阪商業大学元教授)

#### 第6部門「様態動詞と結果動詞」

司会・講師 出水 孝典(神戸学院大学准教授)  
 講師 五十嵐海理(龍谷大学准教授)  
 講師 白杵 岳(京都産業大学助教)  
 講師 森下 裕三(神戸大学研究員)

#### 第7部門「〈情動〉の再定位」

司会・講師 竹内 勝徳(鹿児島大学教授)  
 講師 新田 啓子(立教大学教授)  
 講師 庄司 宏子(成蹊大学教授)  
 講師 横田 正夫(日本大学教授)

#### 第8部門「ディキンソンと戦争と政治

——他作家との比較をまじえて」

司会 東 雄一郎(駒澤大学教授)  
 講師 金澤 淳子(早稲田大学非常勤講師)  
 講師 梶原 照子(明治大学准教授)  
 講師 藤村 希(亜細亜大学講師)

## 第9部門「メディア、帝国、19世紀末アメリカ」

- 司会・講師 塚田 幸光(関西学院大学教授)  
 講師 宗形 賢二(日本大学教授)  
 講師 高村 峰生(神戸女学院大学准教授)  
 講師 中山 悟視(尚絅学院大学准教授)  
 講師 村上 東(秋田大学教授)

## 第10部門「中世頭韻詩の通時的・共時的研究の現状と課題」

- 司会・講師 鈴木 敬了(大東文化大学教授)  
 講師 藤原 保明(聖徳大学教授・筑波大学名誉教授)  
 講師 守屋 靖代(国際基督教大学教授)  
 講師 鎌田 幸雄(仙台大学教授)

## 第11部門「統辞法の原始演算とインターフェイス」

- 司会・講師 加藤 孝臣(上智大学准教授)  
 講師 葛西 宏信(北九州市立大学教授)  
 講師 成田 広樹(日本大学助教)  
 講師 刺田 昌信(三重大学特任講師)

## 第12部門「英語力向上と文学教材——バランスの取れた授業実践を目指して」

- 司会・講師 佐藤 和哉(日本女子大学教授)  
 講師 齋藤安以子(摂南大学教授)  
 講師 那須 雅子(岡山大学准教授)  
 講師 北 和文(東京理科大学講師)

## ◎第88回大会招待発表

第88回大会の招待発表講師は次の各氏に決定しました。(敬称略。50音順。)

- 圓月 勝博(同志社大学教授)  
 小倉美知子(東京女子大学特任教授)  
 塩谷 清人(学習院大学名誉教授)  
 John Scahill(慶應義塾大学元教授)  
 鈴木 俊次(愛知学院大学教授)  
 鈴木 雅之(宮城学院女子大学特任教授・  
 京都大学名誉教授)  
 千石 英世(京都産業大学客員教授・  
 立教大学名誉教授)  
 真野 泰(学習院大学教授)

## ◎第88回大会研究発表の募集

第88回大会の研究発表を募集しております。学会ホームページ上でご確認のうえ、奮ってご応募ください。また、ウェブ上のフォーマットを利用

して、ウェブから直接応募することが可能ですので、どうぞご利用ください。応募の締め切りは11月1日(必着)です。

## ◎シンポジアのアイディア募集について

シンポジアのテーマに関する提言は随時受け付けておりますので、事務局(etaikai@elsj.org)までお寄せください。ただし、提案者は参加することはできませんのでご注意ください。寄せられたアイディアはデータベース化し、大会準備委員がシンポジウムを企画立案する際の参考資料として活用します。

## ◎大会ワークショップについて

第86回大会よりワークショップが導入されておりますが、第88回大会には応募がありませんでした。応募要領は学会ホームページに掲載しておりますので、奮ってご応募ください。第89回大会(2017年開催)ワークショップの応募締め切りは、2016年4月末日です。

## 編集委員会からのお知らせ

## ◎投稿状況

『英文学研究』は、和文号(12月刊行)、英文号(3月刊行)の年各一冊という刊行形態となっており、それに応じてそれぞれ投稿締切が設定されておりますが、昨年9月1日締切の英文号には26本の投稿論文が寄せられました。また、本年4月1日締切の和文号には18本の投稿論文が寄せられました。

## ◎第38回新人賞応募状況

第38回新人賞論文の応募受付は、去る4月30日をもって締切となりました。応募論文総数は、7篇(英文学3篇、米文学3篇、英語学1篇)です。応募者の皆様には心より感謝申し上げます。

今年度、第一次銓衡を通過したのは1篇(イギリス文学)で、第二次銓衡において慎重な議論を重ねた結果、残念ながら新人賞は「該当論文なし」となりましたが、菊池かおり氏(成蹊大学、女子栄養大学非常勤講師)の“A Conjunction of Architecture and the Writing of Virginia Woolf: Sexuality and Creativity in *Orlando*”が佳作に選ばれました。佳作論文には賞金5万円が授与されます。

全体および各分野の選評は『英文学研究』和文

号第92巻に掲載されます。

#### ◎優秀論文賞について

この賞は『英文学研究』(和文号、英文号)に掲載される論文の中から、特に優れた論文に授与されるものです。『英文学研究』第92巻においては、残念ながら「該当論文なし」となりました。

#### ◎アメリカ文学分野の編集委員定員の増員について

近年、アメリカ文学分野委員の論文審査の負担が増大していることから、同分野の委員定員を来年度(2016年度)より6名から7名に増員するという編集委員会での決定が、理事会で正式に承認されました。

### 事務局からのお願い・ご報告

#### ◎今年度の大会について

5月23日(土)・24日(日)に立正大学品川キャンパスにて開催された第87回大会は、両日も晴天にめぐまれ、当日会員を含む多くの方々にご来場いただきました。シンポジア、研究発表、ワークショップのいずれにおきましても活発な議論が展開され、中尾佳行先生、下河辺美知子先生、河野真太郎先生、中村哲子先生、原田範行先生による特別シンポジウムも刺激的な内容であり、大会は盛会のうちに終了いたしました。シンポジア・研究発表・ワークショップ関係者、特別シンポジウム関係者の皆様、書籍展示に参加された協賛会員の皆様、大会運営を担われた教職員・学生の皆様、会の運営に力をお貸しくださった関東支部の皆様、に厚く御礼申し上げます。

#### ◎来年度の大会について

すでに学会ホームページでもお知らせしておりますように、来年の第88回大会は2016年5月28日(土)・29日(日)の両日に京都大学吉田キャンパスにおいて開催されることが決定いたしました。開催校をお引き受けくださった京都大学の皆様に心より御礼申し上げます。

例年通り、大会初日(5月28日[土])の夕刻には、会員の皆様にご参加いただく懇親会を予定しております。懇親会の予約方法につきましては、2016年3月刊行予定の『第88回大会資料』ならびに学会ホームページにて、改めてお知らせいたしま

す。

なお、この時期の京都は大変観光客が多く、ホテルの混雑が予想されます。宿泊をご予定の方は、どうか早めに宿泊先をご予約ください。

#### ◎来年度大会における特別講演について

大会2日目(5月29日[日])の午後には、京都大学名誉教授(西洋古典文学)の中務哲郎先生による特別講演が予定されております。多数のご来聴をお待ちしております。詳細については『第88回大会資料』に掲載いたします。

#### ◎大会期間中における託児所の開設について

開催校のご尽力により、来年度大会期間中に、託児業者に委託する形で、大会会場内に託児所が開設されることになりました。ご関心のある方は本部事務局にお問い合わせください。

#### ◎会費納入と刊行物発送について

会費(一般会員8,000円、学生会員5,000円、協賛会員10,000円)を滞納しても、ただちに会員資格を失うことにはなりません。退会届が出されない限り、会費の納入が滞っても、2年間は引き続き刊行物をお送りいたします。『大会Proceedings』に2年度分の会費振込用紙が同封されている方々は、会費滞納が2年目になっています。今年度中に2年度分の会費の納入がなかった場合は、2016年3月末をもって会員資格を失うこととなります。資格を失ったのちも、未納分の会費については支払い義務があり、その分をお支払いいただかない限り再入会できませんので、ご注意ください。

会費の納入状況が不確かな場合には、メール(ejimu@elsj.org)・電話・ファックスなどで、事務局までお問い合わせください。重複して会費を支払われますと、払い戻しなどに余分な手数料がかかってしまいますのでご注意ください。

会費の納入忘れを避けるためにも、「郵便局自動払込みによる会費引き落とし」のご利用を強くお勧めしております。郵便局(ゆうちょ銀行)に口座をお持ちでしたら、事務局からお送りする書類に記入して、ご返送いただくだけで簡単に利用できます。領収書も、ご請求があれば学会より発行いたします。ご利用をご希望の方は、メール(ejimu@elsj.org)・電話・ファックスなどで、事務局までご連絡ください。



なお、66歳以上の会員を対象とした終身会員制度を設けております。詳細につきましては、学会ホームページ掲載の「終身会員規程」をご覧ください。また、事務局までメール(ejimu@elsj.org)・電話・ファックスなどでお尋ねください。

### ◎会員著書案内について

2012年4月より、会員の皆様から事務局宛てにご著書を献本いただいた場合、学会ホームページに著書紹介を掲載できるようにいたしております。著書は会員独自の研究成果に限り、訳書等は対象外とさせていただきます。掲載期間は、出版から2年間です。また、著書案内に掲載された著書については、『日英文学研究』編集委員会において書評対象の候補として検討させていただきます。どうかご利用ください。

掲載をご希望の方は、以下の情報を事務局までメール(ejimu@elsj.org)でお寄せください。

1. 著書のタイトル、出版社、出版年
2. 著書の内容の梗概1,200字程度
3. 目次

この会員著書案内欄には、2015年7月の時点で17冊が紹介されております。ぜひご覧ください。

### ◎海外研究者招聘後援事業について

日本英文学会では、2011年6月1日より、日本における日英文学研究の国際化促進のために、海外研究者招聘後援事業を実施しています。詳細は学会ホームページ上の当該規程をご覧ください。同規程に該当する企画をお持ちの団体による応募を歓迎いたします。どうぞ奮ってご応募ください。応募する団体は申請書類を事務局宛てメール(ejimu@elsj.org)にてお送りください。

### ◎次回のNewsletterについて

次回のNewsletterは、2016年3月中旬刊行予定の『第88回大会資料』の巻末に掲載される予定です。それまでの間にお知らせすべき情報は、随時、学会ホームページに掲載いたしますので、定期的な確認をお願いいたします。

### ◎その他

本年5月末をもって、前任の松本靖彦事務局長、小宮彩加会計担当事務局長補佐、伊澤高志大会準備担当書記、山本洋平ウェブマスターが退任され

ました。一般財団法人化以後の英文学会の運営を軌道に乗せるべく、数多の困難と膨大な業務に、それぞれ優れた判断力と粘り強さをもって対処してくださいました。改めて心より御礼申し上げます。

この交代に先立って、4月より新たに、諏訪部浩一(事務局長補佐)、生駒夏美(会計担当補佐)、小島基洋(大会準備担当書記)、渡部智也(ウェブマスター)の4名が事務局に入り、昨年度の事務局長補佐から事務局長に配置換えになった金澤哲、昨年度より引き続き編集担当書記を務める合田典世とともに6名の体制で本年度の事務局運営に携わることになりました。任期は来年度の大会が終わる5月末までです。2名のいずれも有能な事務職員に支えられ、佐々木徹会長のもと、力を合わせて努めていきたいと考えております。至らぬ点多々あることかと存じますが、会員の皆様におかれましては、ご指導・ご協力の程どうぞよろしくお願い申し上げます。

日本英文学会事務局

金澤哲・諏訪部浩一・生駒夏美・合田典世・  
小島基洋・渡部智也